

ソーシャル・キャピタルと国際協力

— 持続する成果を目指して —

【事例分析編】

2002年 8月

国際協力事業団
国際協力総合研修所

総 研

J R

02-20

本報告書の内容は研究会の見解を取りまとめたものであり、国際協力事業団の公式見解によるものではない。

Social Capital の訳語には「社会関係資本」、「社会資本」、「社会的資本」、「人間関係資本」、「関係資本」、「ソーシャル・キャピタル」など様々なものがあるが、定訳はなく、本報告書では読みやすさと誤解の少なさ（「社会資本」というとインフラを指す場合が多い）に配慮して、一般的によく用いられている「ソーシャル・キャピタル」と表記している。また、Bonding Social Capital は「内部結束型ソーシャル・キャピタル」、Bridging Social Capital は「橋渡し型ソーシャル・キャピタル」、Cognitive Social Capital は「認知的ソーシャル・キャピタル」、Structural Social Capital は「制度的ソーシャル・キャピタル」という暫定訳に便宜的に統一しているが、これらはできるだけ内容を分かりやすく表記するための仮訳であり、定訳ではない。

なお、国際協力事業団の事業形態（スキーム）について、2002年度から形態名称の変更があったものがあるが、従来の形態名称と混在すると混乱を招く恐れがあることから、この報告書では従来の形態名称を使用している。

序 文

「ソーシャル・キャピタル(Social Capital: SC)」は信頼や規範、ネットワークといった、目に見えませんが成長や開発にとって有用な資源と考えられるもので、これを経済的資本と同様に計測可能かつ蓄積可能な「資本」として位置づけたものです。規範やネットワークなどが開発に重要な役割を果たすことはよく知られていますが、従来、それらは協力をを行う際の外的な条件と考えられ、明確な働きかけの対象とされることはあまりありませんでした。それを外部からの介入によって変化し得る「資本」としてとらえ、協力の中で明示的に位置づけようとするところにソーシャル・キャピタル論の意義があります。

ソーシャル・キャピタルは開発の成果の発現を促すとともに、その成果の持続に必要なものと考えられ、近年、世界銀行等の他の援助機関においてもソーシャル・キャピタルに対する関心が高まっています。しかしながら、ソーシャル・キャピタルの定義や開発への活用については、いまだ議論が定まっていません。国際協力事業団(Japan International Cooperation Agency: JICA)においても社会開発の重要性は認識されていますが、開発の中でソーシャル・キャピタルを明確に位置づけ、その形成方法や評価手法を明らかにするには至っていません。そのため、各開発課題に対し、どのようなソーシャル・キャピタルに着目したらよいかを調査し、その有効性や形成/強化方法、評価手法を検討することを目的として本調査研究を実施し、ここに報告書を取りまとめました。

報告書はソーシャル・キャピタルの概念を整理し、開発との関係や計測手法をまとめた「総論編」と分野別に実際の協力事例をソーシャル・キャピタルの観点から分析した「事例分析編」からなります。

「総論編」ではソーシャル・キャピタルを巡る議論の変遷を踏まえてソーシャル・キャピタルの考え方を整理し、開発援助で注目すべきソーシャル・キャピタルとして、社会・集団内の結束力を高める「内部結束型(Bonding)」と、社会・集団間の関係・ネットワークを構築する「橋渡し型(Bridging)」のソーシャル・キャピタルを挙げました。特に行政とコミュニティの間に「橋渡し型」ソーシャル・キャピタルを形成し、「シナジー(協働)関係」を築くこ

とが持続的な発展には重要であると報告書では提言しています。また、制度や仕組みなどの「制度的(Structural)」ソーシャル・キャピタルと、規範や価値観などの「認知的(Cognitive)」ソーシャル・キャピタルにも着目しました。「内部結束型」も「橋渡し型」も「制度的」なものと「認知的」なものの双方を含み、これらが関連しあって形成・強化されています。さらに、「総論編」ではソーシャル・キャピタルの計測手法に対する考察や計測を行う際の留意点についても調査しています。

「事例分析編」では、ソーシャル・キャピタルの影響が大きく、ソーシャル・キャピタルを意識的に考える必要があると思われる分野から、地域社会開発、農業、森林保全、プライマリ・ヘルスケア、教育、マイクロファイナンスを選定し、事例分析を行いました。事例分析では、まずその分野における開発課題とソーシャル・キャピタルの関係を概念的に整理し、その枠組みに基づいて具体的な事例を分析しています。

ソーシャル・キャピタルについてはまだ検討が始まったばかりであり、今後、活用・形成や評価の方法、ソーシャル・キャピタルが与える影響について経験を積み重ね、教訓を蓄積していく必要があります。そして、これらを基によりよい開発協力を目指していくことが重要と考えます。

本調査研究の実施及び報告書の取りまとめにあたっては、日本貿易振興会アジア経済研究所経済協力研究部の佐藤寛 主任研究員を座長とする研究会を設置して検討を重ねるとともに、公開研究会では多くの方々から貴重なご意見を頂戴致しました。本調査研究にご尽力いただいた関係者に対し心より感謝申し上げます。

本報告書が、開発の持続可能性と社会的要素の関係性を考えていくための参考となれば幸いです。

平成 14 年 8 月
国際協力事業団
国際協力総合研修所
所長 加藤 圭一

目 次

序 文

目 次	i
総論編目次	ix
委員・タスクフォース一覧	x

開発に影響を与えるソーシャル・キャピタルの活用と形成

(総論編の部分的要約).....	(佐藤寛、足立佳菜子)	1
------------------	-------------	---

第1章 地域社会開発とソーシャル・キャピタル

1. 地域社会開発における開発課題とソーシャル・キャピタル	(滝村卓司)	17
1 - 1 貧困軽減対策としての地域社会開発		17
1 - 2 貧困の軽減と行政サービスの役割		18
1 - 3 貧困軽減アプローチとソーシャル・キャピタル		19
1 - 3 - 1 ケイパビリティ・アプローチ		19
1 - 3 - 2 セーフティネット・アプローチ		20
1 - 3 - 3 社会的能力アプローチ		21
1 - 3 - 4 Sustainable Livelihoods アプローチ		22
1 - 4 地域社会開発におけるソーシャル・キャピタルの役割 ...		23
1 - 4 - 1 主要アクター		23
1 - 4 - 2 注目すべきソーシャル・キャピタル		24
1 - 5 シナジー構築に向けて		27
1 - 5 - 1 行政へのアプローチ		28
1 - 5 - 2 住民へのアプローチ		28
1 - 5 - 3 NGO へのアプローチ		29
2. インドネシア・スラウェシ貧困対策支援・村落開発プロジェクト におけるソーシャル・キャピタルの活用・形成	(多田知幸)	31
2 - 1 「タカラール・モデル」の概要		32

2 - 1 - 1	プロジェクトの目標としての 「タカラール・モデルの構築」.....	32
2 - 1 - 2	「タカラール・モデル」の中身	32
2 - 2	「タカラール・モデル」におけるソーシャル・キャピタル	36
2 - 2 - 1	村落住民と行政官の意識の変化 (認知的ソーシャル・キャピタルの変容、形成)...	38
2 - 2 - 2	SISDUK システムの構築(橋渡し型の 制度的ソーシャル・キャピタルの形成).....	41
2 - 2 - 3	地方行政と村落住民のシナジー構築	43
2 - 3	ソーシャル・キャピタルとしての 「タカラール・モデル」に対する評価のあり方	47
2 - 4	今後に向けて	49
付録	インドネシア スラウェシ貧困対策支援・村落開発 プロジェクト PDME	51
3 .	バングラデシュ住民参加型農村開発行政支援計画における ソーシャル・キャピタルの活用・形成	57
3 - 1	PRDP の概要	58
3 - 1 - 1	プロジェクト設立の背景・目的	58
3 - 1 - 2	プロジェクトの活動概要	60
3 - 2	PRDP におけるソーシャル・キャピタルの活用・形成	61
3 - 2 - 1	行政の機能強化	64
3 - 2 - 2	コミュニティの機能強化	65
3 - 2 - 3	行政と住民のシナジー関係の構築	67
3 - 3	評価の視点	68
付録	バングラデシュ住民参加型農村開発行政支援計画 プロジェクト PDME	70
参考文献	73

第2章 農業・農村開発とソーシャル・キャピタル	77
1 . 農業・農村開発における開発課題とソーシャル・キャピタル(相葉学)	77
1 - 1 農業・農村開発における課題の構造	77
1 - 2 農業・農村開発におけるソーシャル・キャピタルの役割	80
2 . 灌漑水管理とソーシャル・キャピタル	(飯田次郎) 85
2 - 1 灌漑水管理における課題の構造	85
2 - 2 灌漑水管理におけるソーシャル・キャピタルの役割	87
2 - 3 タイ水管理システム近代化計画における ソーシャル・キャピタルの活用・形成	90
2 - 3 - 1 タイ水管理システム近代化計画の概要	90
2 - 3 - 2 タイ水管理システム近代化計画における ソーシャル・キャピタルの活用・形成	93
2 - 3 - 3 評価の視点	100
2 - 3 - 4 教訓・留意点	101
2 - 4 今後に向けて	103
付録 タイ水管理システム近代化計画プロジェクト PDM(仮訳).....	106
3 . 農業技術普及とソーシャル・キャピタル	(飯田次郎) 110
3 - 1 農業技術普及における課題の構造	110
3 - 1 - 1 途上国の概況	110
3 - 1 - 2 これまでの JICA の技術協力	114
3 - 2 農業技術普及におけるソーシャル・キャピタルの役割 ...	115
3 - 3 ザンビア孤立地域参加型村落開発計画における ソーシャル・キャピタル活用・形成	118
3 - 3 - 1 ザンビア孤立地域参加型村落開発計画の概要	118
3 - 3 - 2 ザンビア孤立地域参加型村落開発計画における ソーシャル・キャピタル活用・形成	120
3 - 3 - 3 評価の視点	126

3 - 3 - 4 教訓・留意点	128
3 - 4 今後に向けて	130
付録 ザンビア孤立地域参加型村落開発計画プロジェクト PDM(仮訳).....	133
4 . 生活改善とソーシャル・キャピタル	(飯田次郎) 135
4 - 1 生活改善における課題の構造	135
4 - 2 生活改善におけるソーシャル・キャピタルの役割	137
4 - 3 フィリピン農村生活改善研修強化計画における ソーシャル・キャピタル活用・形成	142
4 - 3 - 1 フィリピン農村生活改善研修強化計画の概要	142
4 - 3 - 2 フィリピン農村生活改善研修強化計画における ソーシャル・キャピタルの活用・形成	144
4 - 3 - 3 評価の視点	150
4 - 3 - 4 教訓・留意点	150
4 - 4 今後に向けて	152
付録 フィリピン農村生活改善研修強化計画プロジェクト PDM(仮訳).....	155
参考文献	158
第3章 森林保全とソーシャル・キャピタル	161
1 . 森林分野における開発課題とソーシャル・キャピタル ..(井上真)	161
1 - 1 森林分野における開発パラダイムの転換	161
1 - 2 森林分野における課題の構造： 森林保全及び生活の視点から	162
1 - 3 森林分野におけるソーシャル・キャピタルの役割	169
2 . ネパール村落振興・森林保全計画プロジェクトにおける ソーシャル・キャピタルの活用・形成	(齋藤克郎、睦好絵美子) 173
2 - 1 案件の概要	173
2 - 2 ソーシャル・キャピタルの形成及び活用	176

2 - 2 - 1	ソーシャル・キャピタルの形成	176
2 - 2 - 2	ソーシャル・キャピタルの活用	187
3	JICA 森林分野協力におけるソーシャル・キャピタルに関する 教訓・提言	(齋藤克郎、睦好絵美子) 188
3 - 1	既存のソーシャル・キャピタルの把握	188
3 - 2	ソーシャル・キャピタル形成を損なわない外部者介入の プロセスの選択	189
3 - 3	縦割りの行政組織への対処	189
3 - 4	プロジェクト活動における社会関係強化に関する方針の 明示	190
3 - 5	ソーシャル・キャピタル形成による社会への影響に 対する配慮	191
付録	ネパール村落振興・森林保全計画 / 緑の推進協力計画 プロジェクト PDM	192
参考文献	194

第4章 プライマリ・ヘルスケアとソーシャル・キャピタル

.....	(不破直子)	197
1	プライマリ・ヘルスケアにおける開発課題と ソーシャル・キャピタル	197
1 - 1	プライマリ・ヘルスケア(Primary Health Care: PHC)に おける課題の構造 - PHC の5原則	197
1 - 1 - 1	PHC の概要	197
1 - 1 - 2	PHC の5原則と基本的活動項目	198
1 - 2	PHC におけるソーシャル・キャピタルの役割	203
2	ザンビア・ルサカ市 PHC プロジェクトにおける ソーシャル・キャピタル活用・形成	206
2 - 1	ザンビア・ルサカ市 PHC プロジェクトの概要	206

2 - 1 - 1	ソーシャル・キャピタルの観点からみた プロジェクト	206
2 - 1 - 2	プロジェクトの背景・目的・活動概要	207
2 - 2	ザンビア・ルサカ市PHCプロジェクトにおける ソーシャル・キャピタルの活用・形成	208
2 - 3	ソーシャル・キャピタル形成・活用の評価の視点 - 終了時評価で採用された指標の例	213
2 - 4	教訓・留意点 / 提言	214
付録	ザンビア・ルサカ市プライマリ・ヘルスケア(PHC) プロジェクト PDM(仮訳).....	217
参考文献	219

第5章 教育とソーシャル・キャピタル(結城貴子) 221

1 .	教育分野における開発課題とソーシャル・キャピタル	221
1 - 1	教育分野における課題の構造	221
1 - 2	基礎教育分野におけるソーシャル・キャピタルの役割 ...	225
1 - 2 - 1	各関係者内のソーシャル・キャピタル	226
1 - 2 - 2	関係者間のソーシャル・キャピタル	228
2 .	イエメン基礎教育拡充プロジェクト(Basic Education Expansion Project: BEEP)におけるソーシャル・キャピタル活用・形成	230
2 - 1	BEEP の概要	230
2 - 1 - 1	BEEP の背景、目的、活動と実施期間	230
2 - 2	BEEP におけるソーシャル・キャピタルの活用・形成	231
2 - 2 - 1	実施前にどのようなソーシャル・キャピタル的な ものが主に分析されたのか?	233
2 - 2 - 2	ソーシャル・キャピタル的なものに対しどのような 働きかけがなされたか、なされようとしているか? .	235
2 - 3	評価の視点	240
2 - 4	教訓・留意点	241

3. 今後に向けて	242
付録 イエメン基礎教育拡充プロジェクト ログ・フレーム	245
参考文献	247

第6章 貧困削減におけるマイクロファイナンスと

ソーシャル・キャピタル	(吉田秀美) 251
1. 貧困削減ツールとしてのマイクロファイナンス	
- その課題とソーシャル・キャピタル	251
1 - 1 マイクロファイナンスにおける課題の構造	251
1 - 2 マイクロファイナンスとソーシャル・キャピタルの関係	252
1 - 2 - 1 貧困削減プロセスにおけるマイクロファイナンスと ソーシャル・キャピタル	253
1 - 2 - 2 マイクロファイナンスの制度づくりと ソーシャル・キャピタル	254
1 - 2 - 3 概念整理の具体的活用例	255
1 - 2 - 4 どのようなソーシャル・キャピタルが重要か? ...	257
2. カンボディアのマイクロファイナンス機関 ACLEDA における ソーシャル・キャピタルの形成・活用	260
2 - 1 ACLEDA の概要	261
2 - 2 ACLEDA のスキームと貧困削減効果	263
2 - 3 ACLEDA におけるソーシャル・キャピタルの活用・形成	263
3. カンボディアのコミュニティ統合的プログラム(通称「るしな」 プロジェクト)におけるソーシャル・キャピタルの形成・活用	265
3 - 1 「るしな」プロジェクトの概要	265
3 - 2 「るしな」プロジェクトにおける資産の増大	267
3 - 3 「るしな」プロジェクトにおける ソーシャル・キャピタルの活用・形成	267

4 . スリ・ランカ・マータレーの Women's Saving Banking Society におけるソーシャル・キャピタルの活用・形成	269
4 - 1 プログラムの概要	269
4 - 2 Women's Saving Banking Society の貧困削減効果	270
4 - 3 Women's Saving Banking Society における ソーシャル・キャピタルの活用・形成	271
5 . JICA の貧困削減分野(特にマイクロファイナンス)における 協力へのソーシャル・キャピタル活用 (提言).....	273
5 - 1 金融制度整備支援	273
5 - 2 プロジェクトの一環としてマイクロファイナンス的 要素を採用	274
参考文献	277

総論編 目次

第1章 ソーシャル・キャピタルとは何か

- 1 - 1 なぜ「ソーシャル・キャピタル」か(佐藤寛)
- 1 - 2 ソーシャル・キャピタルとは何か - 議論の変遷 ...(坂田正三)
- 1 - 3 この調査研究におけるソーシャル・キャピタルの
考え方(佐藤寛、足立佳菜子)

第2章 開発援助とソーシャル・キャピタル(佐藤寛、足立佳菜子)

- 2 - 1 開発援助において注目すべきソーシャル・キャピタル
- 2 - 2 JICAにおいて特に着目すべきソーシャル・キャピタル

第3章 ソーシャル・キャピタルの計測手法(加治佐敬、青木祐二)

- 3 - 1 ソーシャル・キャピタルの代表的計測手法とその特徴
- 3 - 2 ソーシャル・キャピタル計測の際の留意点

付録 データ収集方法例

第4章 今後に向けて(佐藤寛、足立佳菜子)

- 4 - 1 ソーシャル・キャピタル活用の方考え方
- 4 - 2 具体的提案
- 4 - 3 留意点
- 4 - 4 開発プロセスを自立的に担う力としての
ソーシャル・キャピタル

参考文献

委員・タスクフォース一覧

座長

佐藤 寛 日本貿易振興会アジア経済研究所経済協力研究部主任研究員

委員

井上 真 東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻助教授

加治佐 敬 (財)国際開発高等教育機構 GRIPS/FASID 共同プログラム助教授

坂田 正三 日本貿易振興会アジア経済研究所地域研究第一部研究員

吉田 秀美 (財)国際開発高等教育機構主任

結城 貴子 東京大学先端科学技術研究センター客員助手

齋藤 克郎 JICA 森林・自然環境協力部森林環境協力課課長
(2001年12月まで)

タスクフォース

滝村 卓司 JICA 国内事業部研修業務課職員

多田 知幸 JICA 社会開発協力部社会開発協力第一課課長代理

小野 道子 JICA 社会開発協力部社会開発協力第二課ジュニア専門員

不破直子	JICA 医療協力部医療協力第二課職員
相葉学	JICA 農林水産開発調査部計画課課長代理
飯田次郎	JICA 農業開発協力部畜産園芸課課長代理
睦好絵美子	JICA 森林・自然環境協力部森林環境協力課課長代理(2002年1月から)
足立佳菜子	JICA国際協力総合研修所調査研究二課職員(事務局兼)
青木祐二	監査法人トーマツ

事務局

小幡俊弘	JICA 国際協力総合研修所調査研究二課課長
佐藤和明	JICA 国際協力総合研修所調査研究二課課長代理
井上恵美子	JICA 国際協力総合研修所調査研究二課 (財)日本国際協力センター研究員(2002年4月まで)
銅口泰子	JICA 国際協力総合研修所調査研究二課 (財)日本国際協力センター研究員(2002年4月から)